記 者 発 表

がんばろう！東北

平成３１年度（２０１９年度）
岩手河川国道事務所の事業概要

平成３１年　３月２９日

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

<<発表記者会：岩手県政記者クラブ、東北専門記者会>>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
盛岡市上田四丁目２－２
TEL ０１９－６２４－３１３１（事務所代表）

〔河川・砂防関係〕
副所長（河川）　堀井（ほりい）　一保（かずやす）（内線204）
工務第一課長　大平（おおだいら）　知秀（ともひで）（内線311）
TEL 019-624-3198（工務第一課直通）

〔道路関係〕
副所長（道路）　十枝内（としない）　美範（よしのり）（内線205）
工務第二課長　佐々木（ささき）　稔（みのる）（内線411）
TEL 019-624-3195（工務第二課直通）
交通対策課長　五日市（いつかいち）　亘（わたる）（内線471）
TEL 019-624-3291（交通対策課直通）

※ 記者発表資料は、「岩手河川国道事務所」のホームページで確認できます。
http://www.thr.mlit.go.jp/iwate/

「東日本大震災からの復興加速」、「国民の安全・安心の確保」及び「地域の活性化」の3分野を重点的に取り組みます。

１．予算総括

［単位：百万円］

区　分		平成30年度 当初予算	平成31年度 当初予算	事業箇所等
河川関係	国土交通省計上分	5,223	8,059	・北上川上流
砂防関係	国土交通省計上分	691	986	・八幡平山系
道路関係	国土交通省計上分	2,970	4,159	・国道４号・４６号 ・宮古盛岡横断道路 （都南川目道路） （区界～簗川） （平津戸・岩井～松草）
	（参考）復興庁計上分	22,549	20,761	

注1）予算は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載。
注2）河川維持や道路維持に係る予算については、含まれていません。

２．主要事業の概要

【河川事業】

〇北上川上流　一関遊水地建設事業
〇北上川上流　北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）
〇北上川上流　一関藤沢地区河川改修事業（畑の沢地区）
〇総合水系環境整備事業

【砂防事業】

〇八幡平山系直轄火山砂防事業

【道路事業】

〇国道4号水沢東バイパス、国道１０６号宮古盛岡横断道路などの改築事業
〇一般国道4号・４６号の管理区間における交通安全対策事業、交通事故重点対策事業

平成３１年度（２０１９年度）　主要事業の概要

河 川 事 業

「継続事業の概要」

○北上川上流　一関遊水地建設事業（一関市、奥州市、西磐井郡平 泉 町）

一関遊水地建設事業では、大林水門、長島水門、舞川水門、小堤及び磐井川の工事を実施します。

○北上川上流　北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）（紫波郡紫波町）

北上川中流部では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、早期に効果を発現する治水対策を実施します。

紫波町紫波地区では、築堤及び用地取得等を実施します。

○北上川上流　一関藤沢地区河川改修事業（畑の沢地区）（一関市）

宮城県境から砂鉄川合流点までの区間（約16km）の内、一関藤沢地区において、治水対策として、築堤（輪中堤）等を実施します。

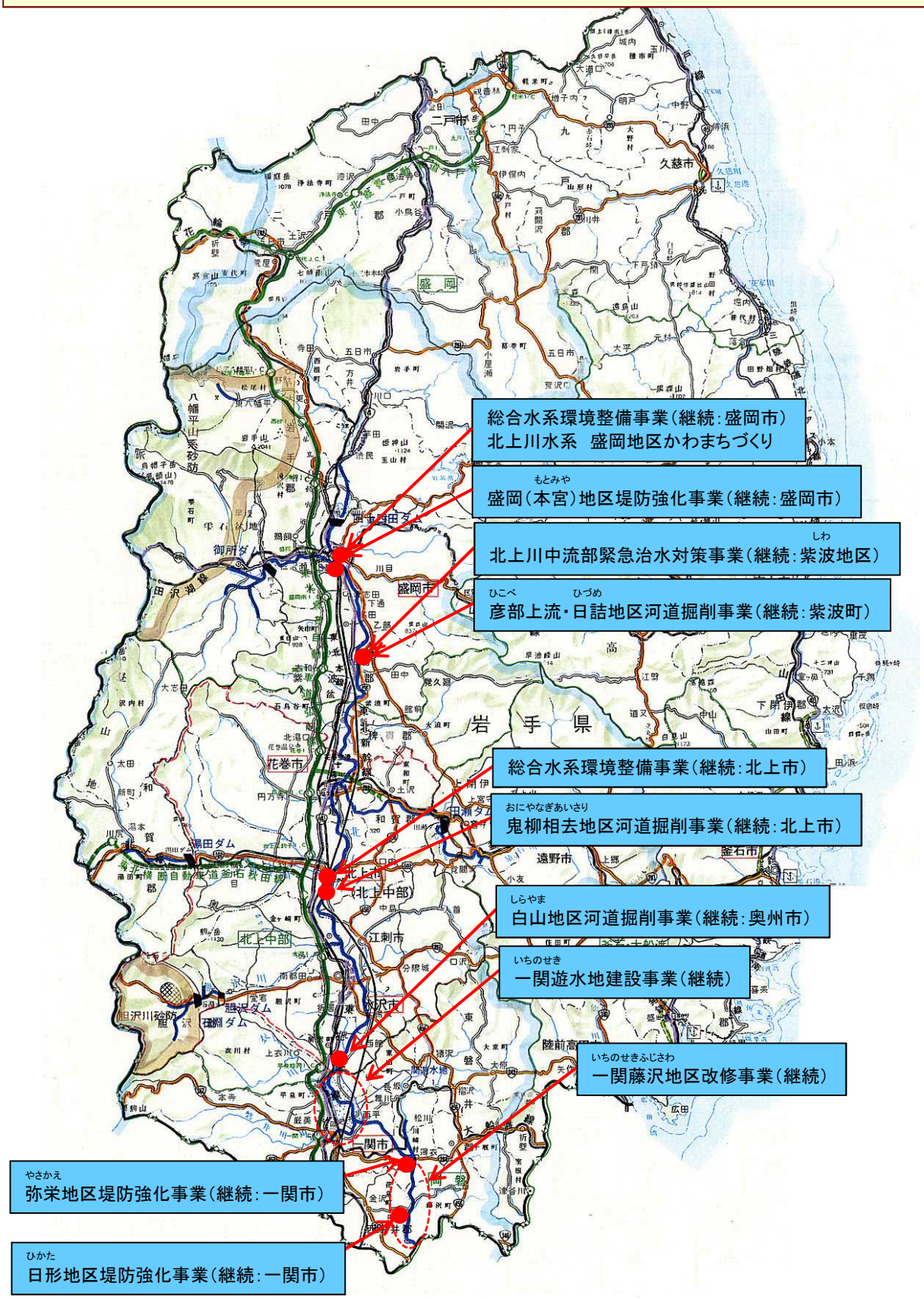
一関市畑の沢地区では、樋門工事及び用地取得等を実施します。

○総合水系環境整備事業（盛岡市、北上市）

盛岡市の北上川・中津川において盛岡市のまちづくりと連携した「盛岡かわまちづくり」として、管理用階段の整備、河道整正（中州撤去）等を行い河川利用の推進を図ります。

北上市の北上川と和賀川の合流部において、礫河原・湿地の再生により良好な河川環境を再生するための「北上川上流自然再生」として、動植物のモニタリング調査を実施します。

平成31年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：河川）



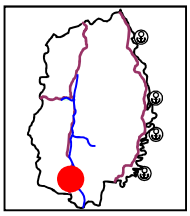
北上川上流　一関遊水地建設事業

2019年度：4,250百万円

完成予定：H30年代

継続	岩手県一関市、奥州市、西磐井郡平泉町	河川	直轄

北上川上流域において、過去幾度となく発生している洪水被害を解消するため、「北上川治水の根幹」である一関遊水地を整備し、北上川流域の洪水被害の解消を図ります。
2019年度は、築堤、水門の工事等を実施します。







周囲堤により市街地の浸水を防止



北上川上流　北上川中流部緊急治水対策事業（紫波地区）

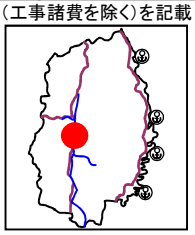
2019年度：3,639百万円※

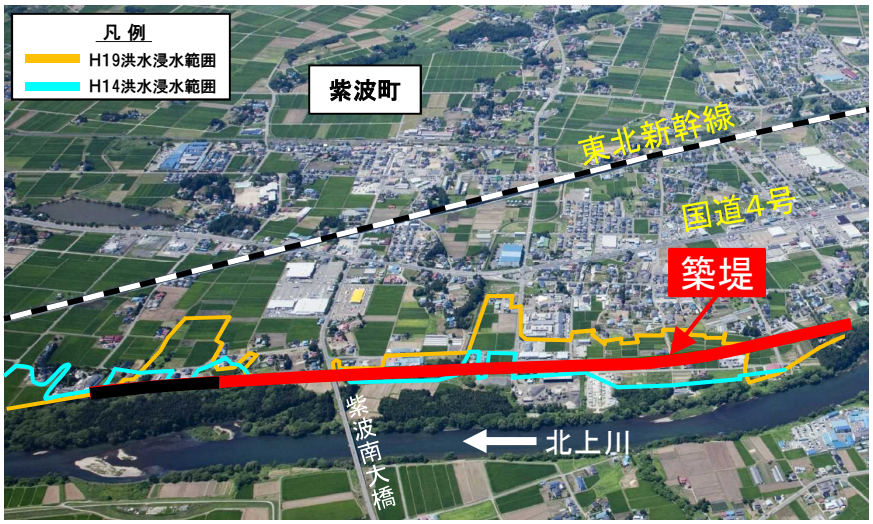
完成予定：　ー

継続	岩手県紫波郡紫波町	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

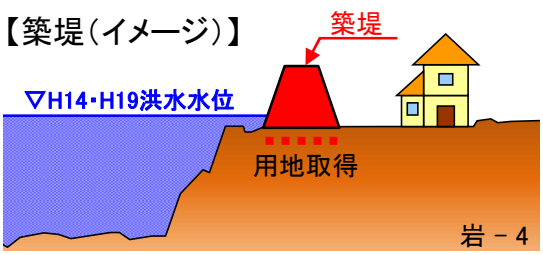
平成14年7月及び平成19年9月の洪水により、家屋や工場等の浸水被害が発生した当該地区において、築堤を実施します。
2019年度は、築堤及び用地取得等を実施します。







【築堤（イメージ）】



北上川水系　盛岡地区かわまちづくり

2019年度：80百万円※

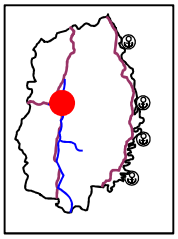
完成予定：2025年度

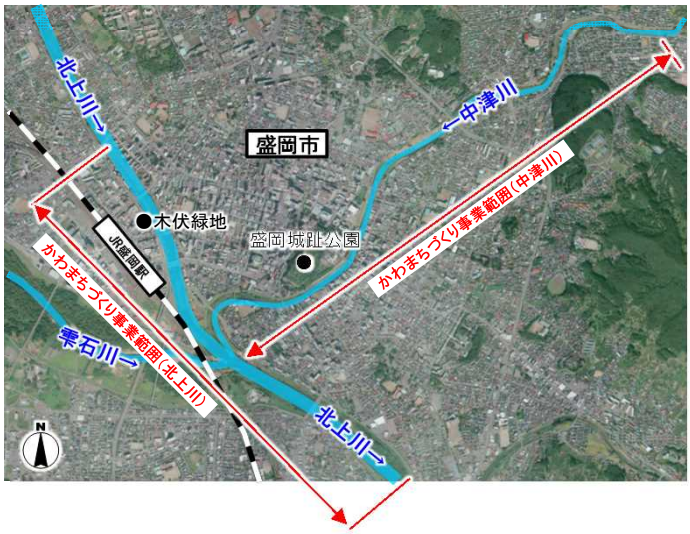
継続	岩手県盛岡市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川（管内）全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

盛岡市が進める「かわを活かしたまちづくり」と連携した管理用通路や管理用階段等を整備し、河川利用者の利便性向上や観光振興を図ります。

2019年度は、管理用階段、河道整正等を実施します。













▲　北上川・中津川沿川の利用状況

平成３１年度（２０１９年度）　主要事業の概要

砂 防 事 業

「継続事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**二双沢砂防堰堤**（八幡平市）

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、２０１９年度は砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**シガクラ沢砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、２０１９年度は砂防堰堤の整備促進を図ります。

○**竜川第３砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、２０１９年度は砂防堰堤の整備促進を図ります。

「新規事業の概要」

≪八幡平山系直轄火山砂防事業≫

○**竜川第２砂防堰堤**（岩手郡雫石町）

秋田駒ヶ岳噴火等による土砂災害から人家等を守るため、２０１９年度は用地取得等を実施します。

平成31年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：砂防）



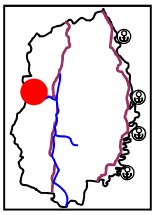
八幡平山系直轄砂防事業（竜川第3砂防堰堤）

2019年度：986百万円※
完成予定：2020年度

継続	岩手県岩手郡雫石町	河川（砂防）	直轄

※上記の事業費は、当該山系全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

秋田駒ヶ岳において、大量の不安定土砂の流出及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流などの、大規模な土砂災害被害を軽減します。
2019年度は、砂防堰堤の整備を実施します。









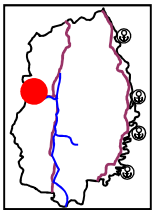
施工状況（2018年）

八幡平山系直轄砂防事業（竜川第2砂防堰堤）

2019年度：20百万円
完成予定：2025年度

新規	岩手県岩手郡雫石町	河川（砂防）	直轄

秋田駒ヶ岳において、大量の不安定土砂の流出及び火山噴火による降灰後の降雨に起因する土石流などの、大規模な土砂災害被害を軽減します。
2019年度は、用地取得等を実施します。









竜川第2砂防堰堤イメージパース

平成３１年度（２０１９年度）　主要事業の概要

道 路 事 業

「新規事業の概要」

○国道４号“岩手４号交通安全対策（村崎野地区交差点改良）”

交通安全事業（北上市）

村崎野地区交差点改良は、４車線から２車線への絞り込み等に起因する渋滞等により停止している車両や交差点の右折待ち車両への追突事故が多発しているため、交通事故の削減及び交通の円滑化を目的とした交差点改良事業です。

２０１９年度は、調査設計を実施します。

○国道４号“岩手４号交通安全対策（山の神地区交差点改良）”

交通安全事業（花巻市）

山の神地区交差点改良は、左折レーンへ滞留しきれない車両等の混雑により交通事故が多発しているため、交通事故の削減及び交通の円滑化を目的とした交差点改良事業です。

２０１９年度は、調査設計を実施します。

「完成事業の概要」

○国道４号“水沢東バイパス”

改築事業（奥州市）

水沢東バイパスは、並行する国道４号の交通混雑緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的としたバイパス事業です。

２０１９年度は２車線部分開通に向けて、改良工事、舗装工事等を実施します。

○国道１０６号宮古盛岡横断道路“都南川目道路”

改築事業　★　（盛岡市）

都南川目道路は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援する自動車専用道路です。

２０１９年度は２車線全線開通に向けて、改良工事、舗装工事等を実施します。

「継続事業の概要」

○国道４号 “金ケ崎拡幅”

改築事業（胆沢郡金ケ崎町）

金ケ崎拡幅は、国道４号の岩手県金ケ崎町における交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした４車線拡幅事業です。

２０１９年度は用地調査等を実施し、用地買収に着手します。

○国道１０６号宮古盛岡横断道路 “区界道路”

改築事業　★　（盛岡市、宮古市）

区界道路は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援する自動車専用道路です。

２０１９年度は改良工事、舗装工事等を実施します。

○国道４号 “岩手４号交通安全対策（一関地区事故対策事業）”

交通安全事業（一関市）

一関地区事故対策は、一関市萩荘～山目地区の通学路指定されている国道４号一関大橋上り線への歩道整備による安全・安心な歩行空間の確保と付加車線整備による交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。

２０１９年度は、用地買収・橋梁工事等を実施します。

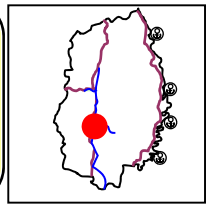
※★の事業は、復興庁からの配分事業。

平成31年度　事業箇所図
（岩手河川国道事務所：道路）



国道4号　岩手4号交通安全対策（村崎野地区交差点改良）		2019年度：21百万円 開通予定：ー	
新規	岩手県北上市	道路	直轄

【事業の概要】
村崎野地区交差点改良は、4車線から2車線へ車線が減少する箇所で交通事故が多発しているため、交差点改良及び付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。





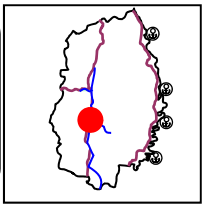


▲交差点付近の混雑状況

【2019年度の事業内容】調査設計を実施します。

国道4号　岩手4号交通安全対策（山の神地区交差点改良）		2019年度：21百万円 開通予定：ー	
新規	岩手県花巻市	道路	直轄

【事業の概要】
山の神地区交差点改良は、混雑する左折レーンの安全性を確保するため、交差点改良及び付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。







▲交差点付近の混雑状況

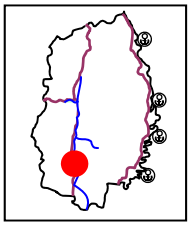
【2019年度の事業内容】調査設計を実施します。

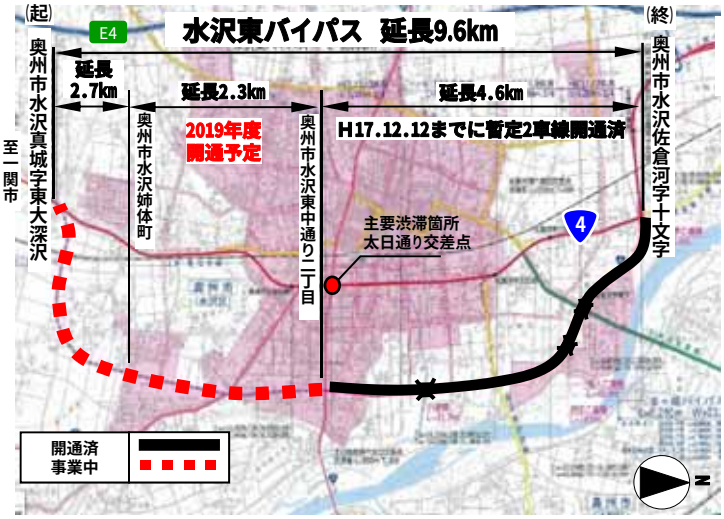
国道4号　水沢東（みずさわひがし）バイパス

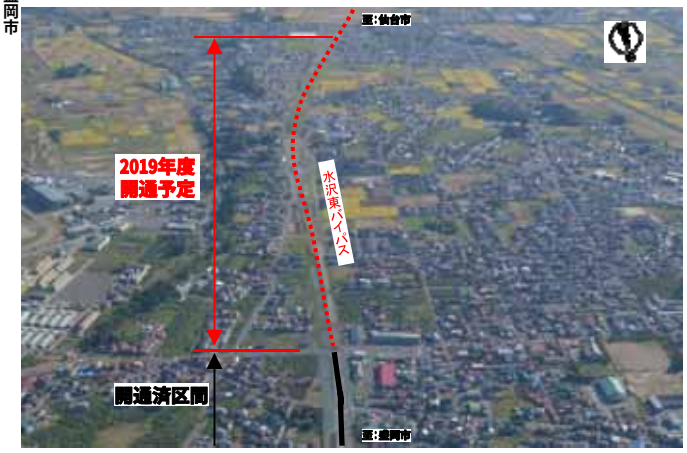
2019年度：1,285百万円

部分開通	岩手県奥州（おうしゅう）市	道路	直轄

【事業の概要】
国道4号　水沢東（みずさわひがし）バイパスは、並行する国道4号の交通混雑緩和、交通安全の確保、沿道環境の改善等を目的としたバイパス事業です。





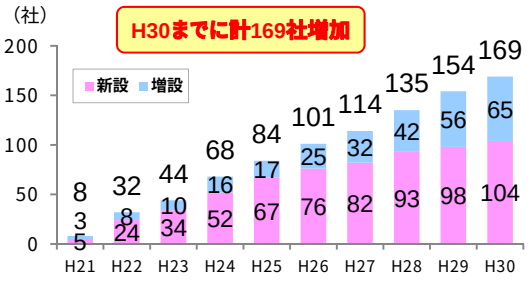


【整備効果】
○並行する国道4号の交通混雑の緩和が期待されます。
○物流の輸送効率化が図られ、地域産業の活性化が図られます。



【写真①】多くの物流企業が利用する国道４号
（水沢東バイパス未開通区間の並行現道）

■ 県南地域における企業進出の状況
（新設・増設の累計）

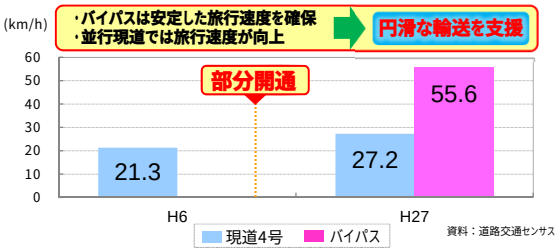


資料：岩手県
※県南地域：花巻市、北上市、金ケ崎町、奥州市、平泉町、一関市





■これまでの開通による効果



資料：道路交通センサス

【２０１９年度の事業内容】
２車線部分開通に向けて、改良工事、舗装工事等を実施します。

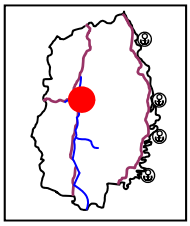
国道106号　宮古盛岡横断道路（都南川目道路）

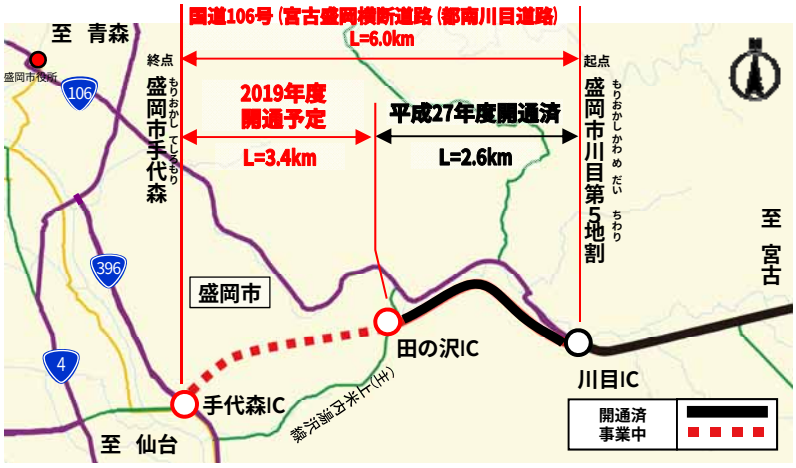
2019年度：3,233百万円

開通	岩手県盛岡市	道路	直轄

【事業の概要】

宮古盛岡横断道路（都南川目道路）は、沿岸地域と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援する自動車専用道路です。







【整備効果】

〇宮古市内国道106号沿線地域の管外搬送は、ほぼ全て盛岡市内の医療施設へ搬送。
〇搬送時間の短縮が図られ、救急搬送や医療活動の迅速性･安定性を確保します。



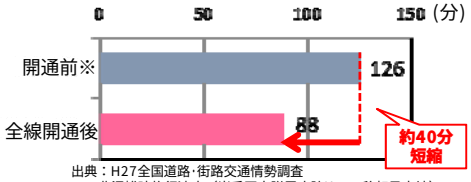
▼宮古市内国道106号沿線地域の
宮古地区外への搬送状況（H29）





※国道106号沿線地域
宮古消防署･新里分署･川井分署
出典：宮古地区広域行政組合消防本部搬送実績

▼ 宮古市役所から岩手医大附属病院
までの所要時間の変化



出典：H27全国道路･街路交通情勢調査
非混雑時旅行速度（岩手医大附属病院はH31移転予定地）
※開通前：築川道路、都南川目道路(川目IC～田の沢IC)供用

【2019年度の事業内容】

2車線全線開通に向けて、改良工事、舗装工事等を実施します。

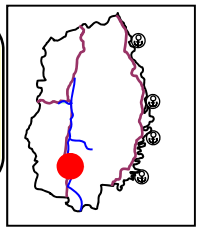
国道4号　金ケ崎拡幅

2019年度：100百万円

開通予定：　－

継続	岩手県胆沢郡金ケ崎町	道路	直轄

金ケ崎拡幅は、国道4号の岩手県金ケ崎町における交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした4車線拡幅事業です。







▲国道4号の混雑状況

金ケ崎拡幅の整備により、国道4号の交通混雑の緩和等が図られます。

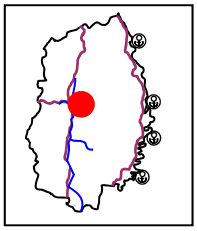
国道106号　宮古盛岡横断道路（区界～築川）

2019年度：7,087百万円

開通予定：2020年度

継続	岩手県宮古市～盛岡市	道路	直轄

宮古盛岡横断道路（区界～築川）は、東日本大震災被災地と内陸との強力な連携を図り、被災地の早期復興を支援する自動車専用道路です。







▲区界～築川の整備状況

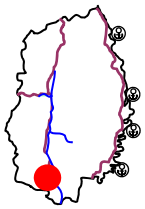
宮古盛岡横断道路（区界～築川）の整備により、被災地の早期復興に寄与するとともに、災害時における代替路の確保が図られます。

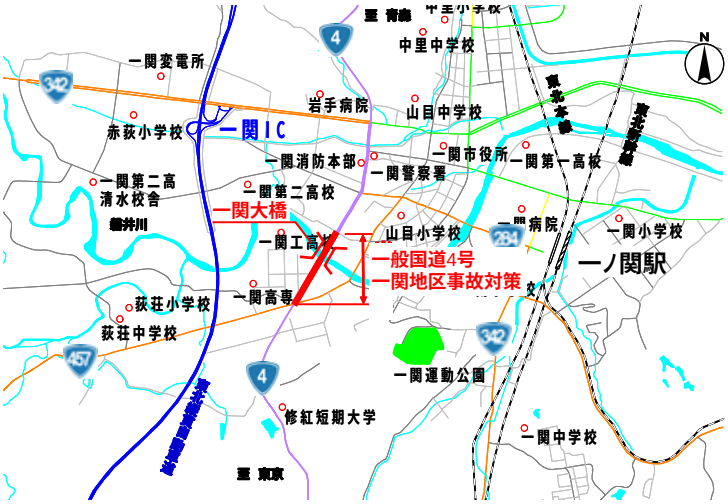
国道4号 岩手4号交通安全対策（一関地区事故対策）

2019年度：339百万円
開通予定：ー

継続	岩手県一関市	道路	直轄

一関地区事故対策は、通学路指定されている国道4号一関大橋上り線への歩道整備により安全･安心な歩行空間を確保するとともに、付加車線整備により交通事故の削減及び交通の円滑化を図る事業です。







▲一関大橋の歩道利用及び渋滞状況

歩道整備及び付加車線整備により、安全･安心な歩行空間の確保及び交通の円滑化が図られます。